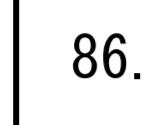
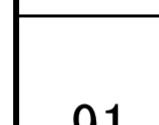
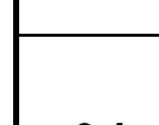


1 主要野菜の生産出荷状況

| 種類 | 4月の価格情報 | | 5月の価格情報 | | 6月 (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年) | 生育及び価格の6月上旬の見通し | | | |
|-------------|---|--------|-----------------------|----------------|---|-----------------|--------|--|---|
| | (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年) | | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額 | | | | | | |
| | 下旬 | 上旬 | 中旬 | | | | | | |
| 葉 茎 菜 | キャベツ  | 84.37 | 124 | 84.37 67.20 | 146 | 150 | 67.20 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 17,760t (100) 主産地 : 千葉 (41)、神奈川 (31)、茨城 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、病害虫の発生は見られないものの、干ばつの影響から、現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は最近の降雨もあり、平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、病害虫の発生もなく生育は順調で、今後は出荷の終盤を迎える減少傾向となるが、引き続き平年並みの出荷の見込み。 千葉産及び神奈川産の出荷が、平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 86.69 | 142 | 86.69 81.66 | 206 | 177 | 81.66 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 4,800t (153) 主産地 : 愛知 (56)、兵庫 (13)、大阪 (11)、熊本 (6) | |
| | ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)  | 264.10 | 321 | 264.10 | 394 | 463 | 264.10 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量 : 3,840t (100) 主産地 : 茨城 (34)、千葉 (30)、埼玉 (20)、輸入 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、生育は概ね順調であるが、4月中旬以降の干ばつ傾向から現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は出荷も増えて平年並みの出荷の見込み。千葉産は、干ばつの影響により生育に遅れが見られるものの、次期作の夏ねぎの出荷が増量すると見込まれることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、5月末で出荷は終了する見込み。 茨城産、千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 334.73 | 535 | 334.73 | 585 | 589 | 334.73 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量 : 220t (96) 主産地 : 徳島 (25)、三重 (17)、香川 (17)、奈良 (15)、高知 (8)、大阪 (7) | |
| | はくさい  | 67.05 | 133 | 67.05 | 134 | 153 | 67.05 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 5,480t (95) 主産地 : 茨城 (96) | <ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、作付面積の減少に加え、4月中旬以降の干ばつ傾向から現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は出荷も増えて平年並みの出荷の見込み。 茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 77.96 | 146 | 77.96 | 162 | 197 | 77.96 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 2,500t (92) 主産地 : 熊本 (18)、大分 (16)、岡山 (8)、長野 (6) | |
| | ほうれんそう  | 376.10 | 592 | 376.10 | 463 | 449 | 376.10 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 1,380t (102) 主産地 : 群馬 (35)、茨城 (30)、埼玉 (11)、岩手 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、特段の病害虫の発生も見られず、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の増加に加え、4月中旬以降干ばつ傾向であったものの、最近の降雨により生育が促進されたことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 群馬産及び茨城産の出荷が平年並みもしくは平年より多めの出荷と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みもしくは平年を下回って推移する見込み。 |
| | | 396.89 | 710 | 396.89 | 536 | 513 | 396.89 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 480t (100) 主産地 : 岐阜 (70)、福岡 (13) | |
| | レタス (結球)  | 156.23 | 218 | 156.23 | 174 | 128 | 120.13 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 7,750t (95) 主産地 : 茨城 (41)、長野 (31)、群馬 (16) | <ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、出荷の終盤を迎えるが、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。長野産は、干ばつ傾向により玉肥大に遅れが生じており、今後は最近の降雨により出荷も増えてくるものの、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 茨城産及び長野産の出荷が平年並みもしくは平年より少なめと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並みに推移する見込み。 |
| | | 165.00 | 249 | 165.00 | 229 | 141 | 125.61 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 1,500t (89) 主産地 : 長野 (38)、兵庫 (38)、香川 (13)、徳島 (12) | |
| | たまねぎ  | 91.24 | 109 | 71.02 | 112 | 113 | 71.02 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 13,050t (100) 主産地 : 佐賀 (62)、兵庫 (8)、千葉 (6)、輸入 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 佐賀産は、露地早生の出荷が終盤を迎えるが、干ばつの影響で小玉傾向となっており、現在は平年よりやや少なめの出荷となっている。次期作の中晩生の出荷が始まるが、現在は干ばつなどの影響から玉伸びがやや悪いものの、最近の好天により、今後は平年並みの出荷の見込み。 佐賀産の出荷は平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 91.24 | 117 | 71.02 | 108 | 119 | 71.02 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 4,600t (87) 主産地 : 兵庫 (51)、佐賀 (41) | |
| 果 菜 | きゅうり  | 253.93 | 294 | 189.84 | 201 | 228 | 189.84 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 8,430t (105) 主産地 : 埼玉 (25)、群馬 (20)、千葉 (12)、茨城 (12) | <ul style="list-style-type: none"> 埼玉産は、生育は順調であるものの、昨年の雪害による作付面積の減少により、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、干ばつ傾向であるが、大きな影響もなく、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、越冬作型は早めの終盤を迎え、順次出荷が終了する産地が増えてくることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 埼玉産、群馬産及び千葉産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年並みもしくは平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 242.77 | 292 | 177.22 | 205 | 222 | 177.22 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 1,700t (97) 主産地 : 宮崎 (40)、高知 (17)、徳島 (15)、愛媛 (10) | |
| | トマト (大玉)  | 339.78 | 393 | 209.59 | 330 | 293 | 209.59 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 10,470t (100) 主産地 : 熊本 (24)、栃木 (21)、愛知 (12)、茨城 (9)、千葉 (9)、埼玉 (6)、群馬 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 熊本産は、最近の天候に恵まれ、特段の病害虫の発生もなく、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、特段の病害の発生は見られないものの、4月中旬までの曇天の影響により小玉傾向となっており、今後も引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。愛知産は、4月中旬までの天候不順の影響により小玉傾向に加え、降雨による病害の発生も見られ、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 熊本産の出荷が平年並みと見込まれるもの、栃木産及び愛知産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 321.78 | 369 | 228.53 | 343 | 307 | 228.53 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 2,000t (105) 主産地 : 熊本 (65)、愛知 (13)、福岡 (12) | |
| | なす  | 347.77 | 425 | 297.07 | 364 | 375 | 297.07 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 4,100t (95) 主産地 : 高知 (46)、福岡 (20)、群馬 (8)、佐賀 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 高知産は、4月の日照不足の影響により、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、連休後の好天により生育は概ね順調となったことから、今後は平年並みの出荷の見込み。福岡産は、4月中旬までの天候不順の影響で病害が発生し、その後天候は回復したものの、現在も病害の影響は残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの見込み。 高知産及び福岡産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 330.95 | 426 | 271.01 | 363 | 355 | 271.01 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 1,300t (112) 主産地 : 高知 (36)、熊本 (18)、大阪 (16)、福岡 (14)、岡山 (9) | |
| | ピーマン  | 308.36 | 598 | 308.36 | 566 | 405 | 251.50 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 2,550t (90) 主産地 : 茨城 (75)、高知 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、4月上旬までの日照不足により、現在は平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は最近の好天により草勢の回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。 |
| | | 283.10 | 550 | 283.10 | 533 | 358 | 266.65 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 500t (142) 主産地 : 宮崎 (49)、高知 (21)、茨城 (12)、鹿児島 (9) | |
| 根 菜 | だいこん  | 86.59 | 118 | 86.59 | 123 | 99 | 86.59 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 10,330t (98) 主産地 : 千葉 (81) | <ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、4月の天候不順の影響による肥大の遅れに加え、現在出荷の終盤を迎えて、今後は漸減傾向となることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、平年を上回っている価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 94.24 | 98 | 94.24 | 108 | 83 | 94.24 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 3,000t (104) 主産地 : 鹿児島 (37)、長崎 (31) | |
| | にんじん  | 156.99 | 142 | 156.99 | 129 | 135 | 133.01 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 7,960t (100) 主産地 : 徳島 (69)、千葉 (22)、輸入 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 徳島産は、現在多めの出荷となっているが、出荷の終盤を迎えており、5月末で概ね出荷は終了する見込み。千葉産は、4月の天候不順の影響から生育にやや遅れが見られ、小ぶりとなっており現在平年よりやや少なめの出荷であるが、早出しの産地が出揃うことになり、最近の天候に恵まれていることから今後は平年並みの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 |
| | | 148.36 | 136 | 148.36 | 119 | 125 | 132.62 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量 : 2,600t (214) 主産地 : 徳島 (50)、長崎 (28)、宮崎 (19) | |

| 種類 | 4月の価格情報 | | 5月の価格情報 | | 6月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年) | 生育及び価格の6月上旬の見通し | | | |
|----|---------------------------|-----------------------|-----------------------|-----|---------------------------------|-----------------|---|--|--|
| | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年) | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額 | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額 | | | | | | |
| | | | 下旬 | 上旬 | | 中旬 | | | |
| いも | さといも | - | - | - | 344.00 | — | 〈入荷量が少ないため、見通しは省略〉 | | |
| | ばれいしょ | - | - | - | 347.90 | — | | | |
| | 131.80 | 195 | 131.80 | 185 | 183 | 131.80 | ・入荷見込量：9,870t (95) ・主産地：長崎（47）、鹿児島（32）、北海道（12） | | |
| | 131.80 | 212 | 131.80 | 200 | 203 | 131.80 | ・入荷見込量：4,300t (93) ・主産地：長崎（65）、鹿児島（18）、北海道（12） | | |

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で（消費税は除く。）保証基準額の算定の基となる価格。

2 別別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景色は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く。）。

3 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局が公表する「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（）内は前年対比。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（）内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス（結球）、トマトについてはトマト（大玉）の数値を用いている。

8 キャベツの平均価格は、上段が5月1～15日まで、下段は5月16～6月31までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、3月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,921gで前年比99%、購入金額は、1,939円で同103%となつた。

また、小売物価統計によると、4月のキャベツの小売価格は、268円で過去5か年平均比110%、レタスは、521円で同115%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を上回つた。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）

| 年 | 過去5カ年平均 | | 平成26年 | | 平成27年 | |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 購入数量(g) | 購入金額(円) |
| 1月 | 4,272 | 1,640 | 4,379 | 1,775 | 4,374 | 100 |
| 2月 | 4,485 | 1,666 | 4,646 | 1,742 | 4,609 | 99 |
| 3月 | 4,868 | 1,811 | 4,958 | 1,878 | 4,921 | 99 |
| 4月 | 4,765 | 1,855 | 4,871 | 1,887 | | |
| 5月 | 5,089 | 1,917 | 5,146 | 1,993 | | |
| 6月 | 5,056 | 1,902 | 4,998 | 1,976 | | |
| 7月 | 4,402 | 1,737 | 4,542 | 1,770 | | |
| 8月 | 4,315 | 1,731 | 4,275 | 1,846 | | |
| 9月 | 4,688 | 1,844 | 4,745 | 2,035 | | |
| 10月 | 5,191 | 1,902 | 5,455 | 1,973 | | |
| 11月 | 4,990 | 1,700 | 5,291 | 1,704 | | |
| 12月 | 5,146 | 1,927 | 5,233 | 1,977 | | |

主要野菜の小売価格（東京都区部）

| | キャベツ | | レタス | | | |
|-----|---------|-------|----------|---------|-------|----------|
| | 過去5カ年平均 | 平成27年 | 5カ年比 (%) | 過去5カ年平均 | 平成27年 | 5カ年比 (%) |
| 1月 | 212 | 229 | 108 | 684 | 827 | 121 |
| 2月 | 223 | 202 | 91 | 631 | 576 | 91 |
| 3月 | 205 | 169 | 82 | 500 | 511 | 102 |
| 4月 | 243 | 268 | 110 | 453 | 521 | 115 |
| 5月 | 163 | | | 365 | | |
| 6月 | 137 | | | 317 | | |
| 7月 | 160 | | | 332 | | |
| 8月 | 138 | | | 400 | | |
| 9月 | 158 | | | 591 | | |
| 10月 | 174 | | | 469 | | |
| 11月 | 164 | | | 429 | | |
| 12月 | 172 | | | 546 | | |

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

注：1 過去5カ年平均は、平成22～26年の平均。

2 平成27年4月の値は、4月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比85%（中国は同93%、ニュージーランドは同60%）の2万9千トン、にんじんは、同121%（中国は同151%、台湾は同90%）の7千8百トン、ねぎは、120%（中国は同121%）の5千4百トンとなつた。たまねぎは、前年をかなり大きく下回り、にんじん及びねぎは、前年を大幅に上回つた。

野菜の輸入数量

| 区分 | 平成25年 | | 平成26年 | | 平成27年1月～3月 | | 平成27年3月 | |
|-----------|-------|-----------|-------|-----------|------------|--------|---------|-------|
| | 前年比 | 平成25年 | 前年比 | 平成26年 | 前年比 | 前年同期比 | 前年同期比 | 前年同月比 |
| | | 生鮮野菜 | 加工野菜 | 野菜合計 | うち中国産野菜合計 | 中国産シェア | | |
| 生鮮野菜 | 90 | 854,042 | 104 | 884,735 | 223,274 | 81 | 90,781 | 94 |
| 加工野菜 | 97 | 1,854,162 | 96 | 1,784,891 | 412,872 | 93 | 136,228 | 89 |
| 野菜合計 | 95 | 2,708,205 | 99 | 2,669,626 | 636,147 | 89 | 227,009 | 91 |
| うち中国産野菜合計 | 97 | 1,415,762 | 100 | 1,409,144 | 315,643 | 89 | 92,050 | 77 |
| 中国産シェア | | 52 | | 53 | 50 | | 41 | |

主な野菜の輸入数量

| 品目 | 輸入先 | 平成26年4月(A) | | 平成27年4月(B) | | (B)/(A) |
|------|----------|------------|------------|------------|------------|---------|
| | | 平成26年4月(A) | 平成27年4月(B) | 平成26年4月(A) | 平成27年4月(B) | |
| たまねぎ | 合計 | 34,231 | 29,267 | 85 | | |
| | 中国 | 26,410 | 24,534 | 93 | | |
| | ニュージーランド | 5,981 | 3,570 | 60 | | |
| にんじん | 合計 | 6,490 | 7,843 | 121 | | |
| | 中国 | 4,559 | 6,895 | 151 | | |
| | 台湾 | 665 | 600 | 90 | | |
| ねぎ | 合計 | 4,522 | 5,416 | 120 | | |
| | 中国 | 4,486 | 5,407 | 121 | | |

資料：農林水産省「植物防疫統計」

注2：輸入数量は、検査数量である。

注1：平成27年4月は速報値。

注3：冷凍を除く。

4 トピック — 野菜の輸入動向（平成27年1月～3月） —

平成27年1月～3月の野菜全体の輸入数量は、前年同期比11.4%減の63.6万トンとなり、昨年10～12月の減少（△16.0%）に引き続き、大きく減少した。一方、輸入金額は、対米ドル為替の円安（平成26年1月104.9円→平成27年1月119.3円）及び輸入数量の約50%を占める中国における生産・加工コスト上昇による輸入価格の上昇もあり、前年同期比0.8%増の1187億円とわずかに增加了。生鮮野菜は、輸入数量は国